

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	インターンシップ		
英文授業科目名	Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	2, 3年次
開講学期	4, 6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-自由科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	小田 弘(平成16年度)		
居室	総合研究棟925		

公開E-Mail	授業関連Webページ
koda@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>インターンシップは次のような目的と意義を持って、企業などの現場で実習を行うものです。</p> <p>(1) 研究開発、製造、サービスなどにおける技術の実際に関心と興味を深める。</p> <p>(2) 将来の技術者としての心構えと抱負を養う。</p> <p>(3) 実際の技術と学問の関連、信頼と安全の重要性、などについて体得する。</p> <p>(4) 人的交流・協力の必要性と、自律した技術者の在り方を考える機会とする。</p> <p>(5) 大学教育の意義を一層理解し、今後の勉学方法、進路決定の一助とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>多くの場合「コンピュータリテラシー」は必要です。また専門基礎科目をなるべく多く履修しておく、学んだことと実習テーマとの関連性が得られやすくなり、学問の実践的な活用についての実感を得やすくなります。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>4月中頃にガイダンスが行われ、その際にインターンシップ実施に関する資料を配付します。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1. インターンシップの履修要項

- (1) 平成16年度のインターンシップは、原則として2年次または3年次の夏期休業中に行う。
- (2) 期間は、4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。
- (3) インターンシップを希望する者は、「インターンシップ願」を、提出して許可を受けなければならない。
- (4) インターンシップ期間中は、実習先の諸規定および監督者等の指示に従う。
- (5) インターンシップ終了後、「インターンシップ報告書」を速やかに、提出する。

2. インターンシップの条件

- (1) 実習先は、日程、通勤、スキルに対する実習先の希望、教育的効果等を考慮して教官が決定する。
- (2) 交通費と昼食代は、実習先から支給されるが、日当は支給されない。
- (3) 通勤不可能な距離にある実習先の場合は、実習先が宿舍を準備する場合が多い。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実習先からの「インターンシップ修了書」(実習先責任者による報告)を受けた後、「インターンシップ報告書」(A4用紙数枚にまとめたレポート)、実習状況などによって総合評価します。
成績(2単位分)は平成16年度後学期に記されます。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等はメールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

インターンシップは、企業などの現場で短期的な実習を行うことによって、大学の講義では得られない数々のことを学び、社会で働くことの意味を考えることができる貴重な機会です。その目的と意義を十分認識して積極的な姿勢で取り組んで下さい。

なお、企業への応募や実施に当たっては、共同研究センターの担当者の指示に従って下さい。

共同研究センターの担当者：

中野 喬 客員教授、小峯 名保美(事務)、共同研究センター 2階 201

電話：0424-43-5778、電子メール：intern@crc.uec.ac.jp

【その他】